

7. 推進に向けて

本戦略においては、「魅力を伝え、寄りそい、支援することで 飛騨高山に人を呼び込む」を基本方針に、3つの柱でさまざまな取り組みをすすめることとしている。

そうした取り組みを着実にすすめるためには、日本一広大な市域に広がる豊かな自然、歴史・文化、伝統、匠の技、温かい人情など多彩な魅力と特徴にあふれるまち「飛騨高山」であり続けること、そして、多様な視点と新たな価値観を大切に夢と創造性にあふれる次の時代を切り拓くまちであり続けることが不可欠である。

このため、第八次総合計画に掲げるまちづくりの方向性とまちづくり戦略のもと、さまざまな取り組みを着実に推進するなかで、地域住民、事業者、関係団体等が本戦略における基本方針や取り組みに対する共通認識を持ち、緊密に連携しながら一体的に推進する。

加えて、PDCAサイクルに基づく進行管理により、個々の取り組みや目標指標の達成状況を把握するとともに、全国等の動向や事業の進捗状況に応じて必要な見直しを行い、本戦略の実効性を確保する。